

令和元年度 明石市地域公共交通会議（第1回） 議事概要

1	日時	令和元年11月20日（水）	14時00分	～	15時30分
2	会場	明石市役所 議会棟 第2委員会室			
3	会員数	12名出席（1名欠席、1名代理）			
4	その他	なし			

協議事項等

【1】開会（事務局）

【2】挨拶（会長）

【3】協議事項

1. 神姫バス 令和2年4月のダイヤ変更についての協議 … **資料1**

神姫バス株式会社より、平成24年3月に明石市営バスから移譲を受けたバス路線である明石駅～大道町線・リハビリセンター線の便数見直しの計画について説明があり、協議を諮った。

【主な意見・質問】

・便数の見直しにより効果は期待できるのか。

⇒（神姫バス）リハビリセンター線については、現状、朝の通勤時間帯に積み残しが発生することもあるが、今回計画する便数見直しで改善されると考えている。また、車内混雑を理由に車いすご利用者が乗車を控える事例も把握しており、こちらも改善されることを期待している。

・明石駅～大道町線については平成27年4月以降2度の減便を行っているとの説明があったが、もう少し時間をかけて様子を見ることはできないのか。

⇒（神姫バス）想定していた利用見込と実態が異なり、利用者数の低迷が続く状況にある。当社としては、ご利用状況に応じた適正なダイヤを設定する必要がある。

⇒内容について、異議なく承認

2. 明石市コミュニティバス（たこバス）の運行について … **資料2**

錦が丘ルート of 魚住市民センターバス停～東岡バス停間におけるバス停の新設について、および山陽バスが運行するたこバス路線（西江井ヶ島ルート）において令和2年4月より運行事業者を変更することについて協議を諮った。

【主な意見・質問】

・運行事業者の変更にあたり、円滑な引継をお願いしたい。

⇒（山陽バス）乗務員の講習や車両の受け渡しなど円滑な引継を行い、たこバスをご利用いただくお客様にご迷惑がかからないようにしたい。

⇒内容について、異議なく承認

【4】報告事項

1. 明石市コミュニティバス（たこバス）の運行について … 資料 2

事務局より、たこバス運行の経緯および平成 30 年度の利用実績について報告を行った。

【主な意見・質問】

・平成 29 年度から 30 年度にかけ、西岡東ルートでは利用者数、収支率ともに悪化しており、収支率については他のたこバス路線（たこバスミニを除く）と比べ低い水準に見受けられるが、今後の見込みはどのようなものか。

⇒（事務局）西岡東ルートは JR 魚住駅を起終点とし、県道明石高砂線を通り山陽西二見駅方面まで運行する路線であり、その長大な運行距離が経費を増大させる要因となっている。一方で、年間約 86 千人（平成 30 年度実績）のご利用があり、他のルートと比較しても少ない利用者数ではなく、今年 4 月からの寿優待制度拡充の効果もあり利用者数はさらに増加する見込である。また、平成 29 年度から 30 年度にかけては利用者数、収支率が伸び悩んでいるものの、過去のトレンドを見るとそれぞれ増加、改善傾向にある。今後も利用促進を図り、利用者数の増加と収支率の改善につなげたいと考えている。

2. 山陽バス 明石線の現状とダイヤ適正化に向けた検討について … 資料 3

山陽バス株式会社から、明石線の現状と利用促進の取り組み、65・66 系統の利用状況および 62 系統の経路変更計画について報告があった。

【主な意見・質問】

・65・66 系統については、地元へ説明のうえ、令和 2 年 4 月より見直されるという認識でよいか。

⇒（山陽バス）その予定である。

3. 神姫バス 明石エリアの現状とダイヤ適正化の検討について … 資料 4

神姫バス株式会社から、明石エリアの現状と利用促進の取り組み、明石駅～松が丘循環線および大久保駅～山手台線の利用状況と今後の方針について報告があった。

【主な意見・質問】

・利用促進の事例で紹介されたバスロケーションシステムは、どこに設置されているのか。

⇒（神姫バス）明石駅前バスのりばやパピオスあかしの建物内などに設置されている。そのほか、スマートフォンからウェブやアプリを使ってご利用いただくこともできる。バスのリアルタイムの運行位置を確認することができ、好評である。

4. 明石市総合交通計画の進捗状況について … 資料 5

事務局より、明石市総合交通計画の進捗状況について報告を行った。

【主な意見・質問】

・交通分担率における「二輪」は何を指すのか。

⇒（事務局）単車および自転車である。

5. グリーンスローモビリティ実証調査について … **資料6**

事務局より、グリーンスローモビリティ実証調査の概要について報告を行った。

【主な意見・質問】

・子どもが悪ふざけで乗車すると危険である。年齢制限の設定を検討してほしい。

⇒（事務局）今回の実証調査では年齢制限を設けていないが、運行開始に先立ち沿線の小中学校を訪問し、生徒方に注意喚起いただくよう依頼した。また、ご指摘のような危険事例は現時点で見受けられていない。今後については、利用者アンケートの結果や本調査で得られる知見を踏まえ検討していく。

・現在、実証調査の期間中とのことだが、利用者の反応はどのようなものか。

⇒（事務局）高低差がある地域なので助かる、オープンな車両構造であるため車内外の交流があり良い空間である、ぜひ本格導入してほしい等の前向きなご意見を多く頂戴している。

・市西部地域では、商業施設が移動制約者のサポートをしている事例もあるが。

⇒（事務局）本格運行となった場合、沿線の商業施設が運行主体となる事も手段のひとつであるが、現時点ではまだ働きかけは行っていない。運行主体をはじめ、車両や乗務員の確保など、今回の実証調査の結果を受けて検討していく。

・本格運行となった折には、当然ながら少なからず経費がかかる。採算性についてはよく考えるべきである。

⇒（事務局）今回の実証調査において車両は無償貸与であり、乗務員の手配についても明石恵泉福祉会に無償でご協力をいただいているが、ご指摘のとおり本格的に運行するには経費が発生する。本格運行を実施となった場合、解決すべき課題は多くあると認識しており、今回の実証調査から得られる結果を踏まえ検討していきたい。

・高齢者や障害者など移動に制約のある方が喜ぶと思う。ぜひ進めてほしい。

【4】閉会（事務局）